

農林水産商工常任委員会提出資料

(平成29年6月28日)

項 目	ページ
1 森林環境保全税の見直しについて 【森林づくり推進課】	1
2 境漁港クロマグロの水揚げ状況とPRの取組について 【境港水産事務所】	3
3 鳥取墨なし白イカ「白輝姫」のブランド化について 【食のみやこ推進課、水産課】	4
4 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について 【農地・水保全課、水産課】	5

農 林 水 産 部

森林環境保全税の見直しについて

平成29年6月28日
森林づくり推進課
税務課

1 概要

県民共通の財産である森林を県民全体で守り育てていく取り組みの一環として、平成17年4月から個人県民税均等割及び法人県民税均等割に上乘せする形で「森林環境保全税」を導入していますが、その適用期間が平成30年3月末で終了することに伴い、所要の見直しを行った上で5年間延長する方向で検討しています。

2 現行制度の概要

- 趣 旨：森林の持つ公益的機能の発揮のための森林整備及び森林を守り育てる意識の醸成
- 課税方式：県民税均等割の超過課税
- 適用期間：平成25年4月1日～平成30年3月31日（5年間）
- 超過税率：【個人】年間500円 【法人】資本金に応じ、年間1,000円～40,000円(均等割額の5%相当額)
- 年度別基金積立額：税収のうち徴収に要した経費を控除した額と運用利息を基金に積立（単位：千円）

年度	24年度 まで	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (見込)	合計
積立額	1,135,156	177,502	179,415	173,991	179,996	174,009	2,020,069
使途額	1,001,953	151,334	166,030	145,511	156,930	212,493	1,834,251
積立残額	133,203	159,371	172,756	201,236	224,302	185,818	185,818

○主な使途と事業実績

区 分	事業量
とっとり環境の森緊急整備事業（ハード）※スギ、ヒノキ人工林の強度間伐	面積 1,058 ha
とっとり県民参加の森づくり推進事業（ソフト）※森林体験企画支援	企画数 249 件
森林の保全・整備	面積 8,839 ha 延長 530,067 m
竹林対策（主に竹林整備）※放置竹林の整備	面積 416 ha
森林景観対策事業 ※国立公園等の松枯れ木等の伐採	面積 320 ha

3 見直し方針（案）

区 分	内 容
延長期間	平成30～34年度末の5年間 (第1期：17～19年度、第2期：20～24年度、第3期：25～29年度)
趣旨・税率	現行どおり
税収見込額	1.7億円/年
使途事業	現行事業要望が毎年約2.2億円以上ある状況や、県民アンケートや関係団体との意見交換による要望を踏まえ、以下の方向で検討している。 ・現行の使途事業を基本としつつも、森林整備や竹林対策、景観対策に対する幅広い要望に対応できるよう、使途の一部拡充や補助率の変更による一定の事業量確保を目指す。 ・引き続き県民等の意見を伺い、より本県の課題に対応した使途事業となるよう検討を進めていく。

【参考1】「森林環境税（仮称）」創設に向けた動き

- ・平成29年度税制改正大綱において、「市町村が主体となって実施する森林整備等に必要な財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税（仮称）の創設に向けて、地方公共団体の意見も踏まえながら、具体的な仕組み等について総合的に検討し、平成30年度税制改正において結論を得る」と明記された。
- ・本県においては、森林の整備等については、これまで県が主体的に役割を担ってきたところであるが、林野庁において、市町村の役割強化を念頭に森林関係法令の見直しを検討中。
- ・総務省は、地方財政審議会に「森林吸収源対策税制に関する検討会」（座長：小西砂千夫 関西学院大学大学院教授）を設置し、以下の4つの論点を中心として、具体的な仕組み等について検討を開始したところ。
 - ① 税の目的・性格、基本的な枠組み
 - ② 税収の使途
 - ③ 税収の配分に関する考え方（配分先、配分の基準等）
 - ④ 都道府県等における超過課税との関係

【参考2】県政参画電子アンケート

実施期間：平成28年7月25日から8月8日まで

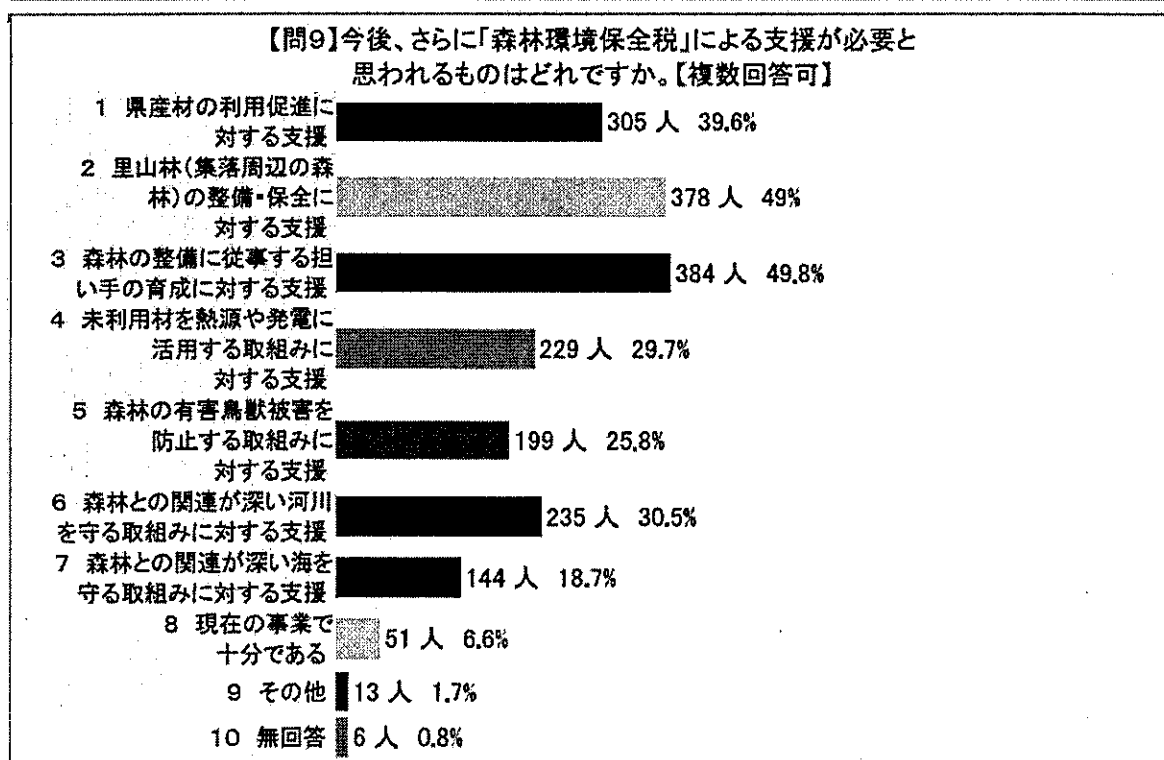
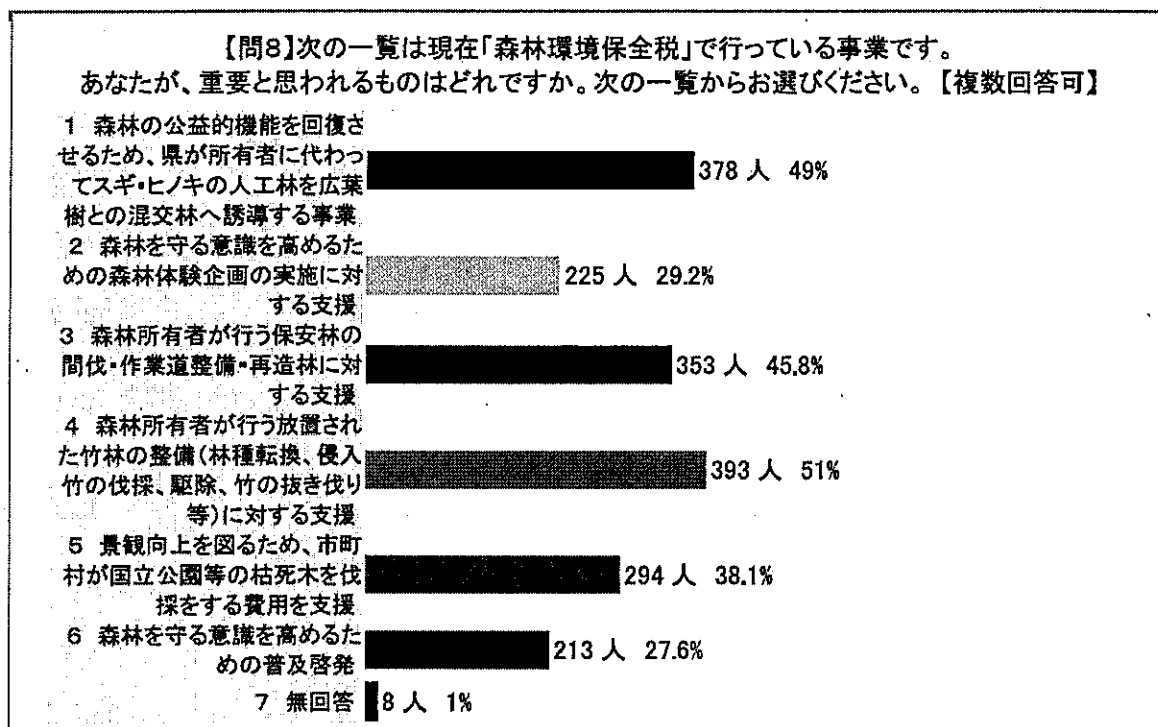
対象：県政参画電子アンケート会員 929名

回答数：771名（回答率83%）

〈主な結果概要〉

- ・税額、適用期間については、妥当という意見が大半であった。
- ・現行使途については、竹林対策や人工林の強度間伐、森林の保全・整備、森林景観対策について重要であるとの意見が多い。
- ・今後の使途については、担い手の育成や里山林整備、県産材の利用促進が必要との意見が多い一方で、追加事業に対するこれ以上の税負担には反対という意見もあった。

〈県政参画電子アンケート抜粋〉



境漁港クロマグロの水揚げ状況とPRの取組について

平成29年6月28日
境港水産事務所

6月12日に、境漁港において鳥取県（共和水産（株））及び長崎県所属のまき網漁船がクロマグロの初水揚げを行いました。昨年より13日遅い水揚げでした（過去一番早い水揚げは平成10年5月27日）が、初水揚げ以降は順調な水揚げで、境漁港は初夏の風物詩のクロマグロで活気が続いています。

生産者団体や流通団体、観光協会、行政等で構成する「鳥取県境港天然本マグロPR推進協議会」（会長：岩田祐二、（一社）境港水産振興協会会長）は、境港産天然本マグロの知名度向上、消費拡大、資源管理の取組のPRに向け、初セリ式を始め、県内外でさまざまなイベントを開催しています。

1 初水揚げの結果

	平成29年	平成28年
水揚げ日	6月12日（月）	5月30日（月）
水揚げ船団	第28光洋丸（共和水産（株）：鳥取県所属） 第31源福丸（東洋漁業（株）：長崎県所属）	第1光洋丸（共和水産（株）：鳥取県所属）ほか県外船2隻
水揚げ量	90トン	68トン
水揚げ本数	1,539トン	1,174トン
体重	28～140トン（平均59kg）	26～74kg（平均58kg）
単価	1,526円/kg	1,634円/kg

2 水揚げ状況（6月25日（日）時点）

水揚げ回数	水揚げ量	水揚げ本数	平均（最大）	単価
17回	735トン	12,217本	60kg（197kg）	1,121円/kg

3 境港産天然本マグロPRの主な取組

(1) 初セリ式（27年度から実施）

- ・安全操業、豊漁祈願と境港産クロマグロのシーズン到来をPR
- 日 時 6月12日（月）午前8時45分～（9時から入札開始）
- 場 所 境漁港3号仮設上屋
- 内 容 境港天然本マグロPR推進協議会副会長（島谷憲司）挨拶
境港水産事務所長手締め



初セリ式 島谷副会長挨拶

(2) 初水揚げ当日の関西PR（27年度から実施）

- ・初水揚げされた境港産の天然本マグロを集客力ある関西でPR
- 日 時 6月12日（月）午後2時30分～
- 場 所 あべのハルカス近鉄本店、阪神百貨店梅田本店
- 内 容 解体ショー（近鉄）と試食宣伝販売
〈お客さまの声〉ほどよい脂で赤身もおいしい



初水揚げ当日の関西PR

(3) 第7回境港マグロ感謝祭（23年から実施）

- ・境港産クロマグロのPR及び資源管理の取組などの情報発信
- 日 時 6月18日（日）午前10時～午後1時まで
- 場 所 境漁港3号仮設上屋
- 内 容 解体ショー、重量クイズ、無料ふるまひ、内臓料理の紹介
血合の唐揚げ・串焼き・丼、バーガーなどマグロ料理の来店
- 来場者数 5,000人



マグロ感謝祭

(4) 首都圏でのPR（今年度初開催）

- ・境港天然本マグロの認知度向上のため東京の百貨店などでPR
- 日 時 6月23日（金）午後2時～、24日（土）午後1時～
- 場 所 23日・小田急本厚木ミロード
24日・京王百貨店新宿店、日本橋三越本店本館
- 内 容 解体ショー（京王）、試食宣伝販売、境港産マグロDVDでのPR
〈お客さまの声〉赤身は生マグロ独特の酸味があっておいしい



首都圏でのPR

4 大中型まき網における資源管理の取組

- ・境港に水揚げする大中型まき網漁業者は、平成23年漁期から、全国に先がけて、大型魚（30kg以上）の漁獲量を制限（6～8月の日本海の漁獲上限2,000ト）するなど、率先して資源管理に取り組んできた。
- ・平成27年の漁期からは、日本海で漁獲する大中型まき網は、大型魚の漁獲上限を1,800ト、8月の操業自粛を実施。今期も継続中。

鳥取墨なし白イカ「白輝姫」のブランド化について

平成29年6月28日
食のみやこ推進課
水産課

鳥取県産魚PR推進協議会（会長：景山一夫）では、墨袋を取り除いた「鳥取墨なし白イカ」に「白輝姫（しらきひめ）」の愛称を付け、ブランド化に向けて取り組むこととし、山陰の夏の味覚・白イカの知名度向上及び消費拡大をめざします。

1 これまでの取組の経緯

(1) 平成28年度テスト出荷の成果

平成28年度は、鳥取県漁協賀露支所、淀江支所、赤碕町漁協などが市場調査を目的としたテスト出荷を7月4日から8月4日までで実施。墨なし白イカ（平均単価1,668円/kg）と通常の白イカ（平均単価1,285円/kg）ではキロ当たり383円高単価での取引となった。また、関西の高級スーパー（光洋）での販売では、消費者からイカ墨で汚れることなく調理できると好評であった。

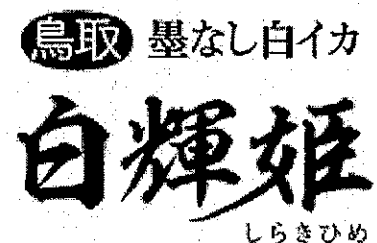
(2) 愛称の決定

平成28年7月18日に開催された「賀露白いか祭り2016」及び8月11日から22日まで鳥取・賀露港海鮮市場「かるいち」にて墨なし白イカの愛称について投票を実施した結果、「白輝姫」が最も得票数が多かったため決定した。

2 鳥取墨なし白イカ「白輝姫」の特徴

- 漁獲後すぐに専用の器具を用いて墨袋を除去。
- 調理中に墨を洗い流す手間が省け、シンク、まな板、服等が汚れないことから消費者に好まれ、通常の白イカに比べ高単価での販売が期待できる。
- 墨が出ないため店頭陳列がきれい。
- 他の魚と詰め合わせての発送が可能となり、販路拡大が期待できる。

<ロゴデザイン>



3 今後の取組方法について

- 出荷時点で墨袋が除去された白イカを、鳥取墨なし白イカ「白輝姫」として販売。（大きさ等の基準は特になし。）
- 県漁協各支所（賀露支所・網代港支所・夏泊支所・御来屋支所・淀江支所）、田後漁協、赤碕町漁協で取り組む。
- 県内の水産物直売所で販売するほか、県内スーパーや県外の百貨店、高級スーパーなどにも販路を拡大することにより、さらなる付加価値向上が見込める。

参考

(1) 取組の背景

- 白イカ（標準和名：ケンサキイカ）は沿岸漁業にとって重要な魚種。
 - ・沿岸漁業の漁獲量の上位に入る魚種であり、2016年の漁獲量（金額）は307トン（3億円）。
 - ・白イカは、甘みが強く濃厚な味わいが人気の鳥取の夏の味覚の一つ。

(2) 鳥取県産魚PR推進協議会の概要

県内で漁獲される水産物の県内外へのPRにより知名度向上及び消費拡大を図り、特産品化を推進する目的で設立。

<構成団体>

- ・生産者：鳥取県漁協、田後漁協、赤碕町漁協、
- ・関連団体：飲食業、観光業、仲買人等（10団体）、境港水産振興協会、鳥取県

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

平成29年6月28日
農地・水保全課
水産課

【新規分】

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	工事内容	摘要
水産課 (営繕課)	境港市管理型市 場整備事業1号上屋新築 工事(電気設備)	境港市 昭和町	境港市高度衛生管理型市場整備事 業1号上屋新築工事(電気設備)岡田 電工・美保テクノス特定建設工事共 同企業体 岡田電工株式会社 代表取締役 島崎 祐二	239,760,000円 (設計額 244,074,600円) 落札率 98.23%	平成28年6月10日 ～ 平成31年4月30日	平成29年6月9日	【工事内容】 1号上屋新築に伴う電気設備工事 電灯・動力・受変電・拡声・火災報知・ 構内配線経路・構内通信線設備	制限付一般競争入札 1社 平成29年6月9日 開札
水産課 (営繕課)	境港市管理型市 場整備事業1号上屋新築 工事(機械設備)	境港市 昭和町	境港市高度衛生管理型市場整備事 業1号上屋新築工事(機械設備)シ セイ・モチダ特定建設工事共同企業 体 株式会社シセイ 代表取締役 濱田 正道	383,400,000円 (設計額 386,489,880円) 落札率 99.20%	平成29年6月9日 ～ 平成31年4月30日	平成29年6月8日	【工事内容】 1号上屋新築に伴う機械設備工事 冷蔵庫・換気・自動開閉・衛生器具・給水・排水・消火・ 工業用水・清浄湯水・冷湯水・シャワーベットの次亜塩素・ プロローパー・冷却・仮設次亜塩素	制限付一般競争入札 1社 平成29年6月9日 開札

【変更分】

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	工事内容	摘要
農地・水保全課 (東部農林事務所)	大口地区河川工作物必 急対策事業(頭首工改修) 工事	鳥取市 円通寺	中央建設株式会社 代表取締役 西田 正人	(当初契約額) 113,184,000円 (第1回変更後契約額) 120,766,680円 (変更額) 7,582,680円 (第2回変更後契約額) 120,766,680円 (変更額) 0円 (第3回変更後契約額) 120,994,560円 (変更額) 227,880円	平成28年8月17日 ～ 平成29年5月30日 (変更後工期) 平成29年6月15日	平成29年5月30日	農業用取水堰改修工事 (326) 護床ブロック工 311個 魚道改修 1箇所 仮設工 仮締切工 1式 ○変更内容(228千円) ・護床ブロック施工範囲を現地形状に整合させるよう見直した ことに伴う減額。 ・観音水による河川水量の増加に伴い、仮締切内の水位が上 昇したため水質工を追加したことに伴う増額。	

